

月刊 ポケット あわじ

発行日 2007年9月1日

淡路のストリート・ストーリー~!



プロポーズ街道
南あわじ市松原
慶野松原

いつまでも
変わらぬ
愛...フフ
から
瓦ぬ愛を



海に沈んでいく夕日の美しさに惹かれてカップルでにぎわう慶野松原海岸...。その一角にプロポーズ街道があります。特産品の瓦にカップルや家族が彫刻刀で記念の言葉や絵を刻み瓦工場で焼成した瓦がプロポーズ街道に展示されています。

「いつまでも瓦ぬ愛を」と、平成9年に観光協会の呼びかけで展示がはじまり、今年は10年目。「一生一緒」や新婚旅行に訪れたカップルが記念に作った一句が刻まれていたり一枚一枚がユニークで夕暮れ

の散歩にはもってこいの小道になっています。中には結婚後子どもが生まれる度に訪れて、その子の手形を加えた一枚を残していく家族もいるそうです。

残暑真っ盛りのなか、しばし、プロポーズの言葉に浸っていると、「自分たちにもこんな時期が、あったなあ」と、初心にもどることもできそうな、お薦めスポットです。瓦作成の問合せは慶野松原荘(36-3391)。一枚2,100円で自宅に送ってもらうこともできます。

取材:浜田泰美&岡八代井

淡路のストリート・ストーリー

- P.1 南あわじ市 プロポーズ街道
- P.2 洲本市 いわた通り・塩屋筋・堀端筋など
- P.3 福良のレトロな道筋・志筑の中橋・尾崎の桜道
- P.4 生活創造活動グループ紹介
「私たちが伝える国生み神話」グループ

目次

- P.4 しっちゃんさんのひとりごと「岩屋のまつり」
- P.5 ぐらしのパートナーシップ
県民交流広場の素敵な交流の輪
- P.6 淡路生活科学センターからのお知らせ
淡路文化会館からのお知らせ
- P.7~8 淡路のイベント情報・展示情報



堀端筋

堀端筋

かつての城下町では丁度この場所に堀があり、その堀に沿った通りであったことから「堀端筋」と呼ばれていました。堀を埋立てた今の時代になっても通りの名前だけはそのまま残っています。また、この堀端筋を挟んだ両側を内町・外町という呼称は、遠く年月を経た今の時代においても使われています。



いわた通り

かつての洲本町長であった岩田康郎氏が行った洲本川の付替事業と埋立地への鐘紡紡績工場誘致の功績にちなんで、元洲本川が流れていたこの通りが「いわた通り」と名付けられました。通りの傍らに、いわた通りや洲本川を見守る元岩田町長の銅像が置かれています。



岩田康郎氏の像

寺町筋

昔の城下町ではこの辺りが町の外れということで、お寺が集中的に置かれていました。現在でも多くのお寺が通り沿いに並んでおり、この通りを歩くほど「寺町筋」だと頷ける風情を今に残しています。

至 広田



寺町筋

塩屋筋

塩屋筋の名称は古く、その名前が示すとおり、海や塩に関する商売屋さんが並んでいたことが想像出来ますが、その由来はハッキリわかりませんでした。ただ、旧洲本川にかかる塩屋橋(今のジャスコ前の交差点辺り)を渡って通りや城下町へ行く昔の地図などから推察すると、「塩屋筋」は洲本の入口でありメインストリートであったことが考えられます。また、塩屋橋は県立淡路島公園内に移設され国の登録文化財となっています。

平成18年11月から、この塩屋筋入口では『しおちゃん』が迎えてくれます。「塩屋筋を多くの人に覚えてもらって、少しでも身近に感じてもらえれば...」は、『しおちゃん』(左図)生みの親である柿本建築設計事務所の柿本康雄氏の談です。



あいさつ通り

平成19年4月17日から、洲本第二小学校前のグラウンドと校舎に挟まれた道路を「あいさつ通り」と名付け、あいさつ運動を始めています。「元気にあいさつが出来る子どもがいいというのはもちろんですが、顔見知りでなくてもお互いに声を掛け合う事は、地域の防犯にも期待出来る。」と、洲本第二小の高田校長先生は笑顔で話されました。



海岸通りや内通り・下屋敷通りなど、洲本では小さな通りがまだまだありそう!! 皆さんもあまり知られていないレアな通りを探しに出かけませんか。

福良 (ふくら)



写真提供: 南あわじ市情報課

国道28号を南下し続けると、古き良き昭和時代の香りが漂う福良商店街にたどりつきます。昭和30年代には輸送の手段が船だったため、淡路中の品物が福良湾から入ってきていたそうです。海運業が盛んで、福良の町は活気に溢れ商売人はもちろん、飲み屋・料理屋・宿屋が軒を連ね、映画館も二軒ありました。三原の玉ねぎも一日2~3回馬車で運んでは、福良港で船に積んでいたのです。商店街を通っていると、当時の活気を思わせるような建物があります。毎年8月14日、福良商店街の真ん中あたりにある慈眼寺(じげんじ)を中心に東西に分かれて、通りを使っての大綱引き(写真)があります。東側は商売人、西側が漁師で綱をひきあうのです。船に積んでいた太いロープを借りてきて綱引きをしていたことからこの行事がはじまったようです。戦時中は休止していた綱引きですが、平成8年から56年ぶりに地域の人々が復活させたのです。福良の道筋には、思わず立ち止まってしまう、レトロなおもちゃ屋さんやお風呂屋さん、絶品のパン屋さんもあります。懐かし~い香りの漂う福良の道筋を歩いてみませんか。

取材: 川原雅代

中橋 (なかばし)



津名地区志筑の街中に「中橋」という通りがあります。志筑の中地区というところがあり、真ん中に橋を挟んで両側が一番商業の賑わっていた場所で、中心部だったために「中橋」と言われるようになったそうです。震災前までは(写真左)のようにこの通りに店がぎっしりと並んでいました。年末には福市を、夏には夜店を企画して街中がいつも賑わっていました。この通りには金物や、呉服屋、魚屋、など色々な商店が並び、ここに来れば何でも揃うと言われていました。時代とともに流通が変わり、「中橋」の通りの様子も変わってしまい(写真右)、昔からあるお店も5軒ほどになりました。震災前にあったお店で私がなつかしく思い出すのが、「何でもそろう布屋さん」です。店が奥のほうまであって、欲しい物がなんでも出てきました。学校で使う手芸の布や糸など、お店のおばちゃんに言えば、どこからかすぐ探し出してくれました。今回の取材でその布屋さんも店を閉めてしまったことを知り、一抹の寂しさを感じています。

津名地区志筑の街中に「中橋」という通りがあります。志筑の中地区というところがあり、真ん中に橋を挟んで両側が一番商業の賑わっていた場所で、中心部だったために「中橋」と言われるようになったそうです。震災前までは(写真左)のようにこの通りに店がぎっしりと並んでいました。年末には福市を、夏には夜店を企画して街中がいつも賑わっていました。この通りには金物や、呉服屋、魚屋、など色々な商店が並び、ここに来れば何でも揃うと言われていました。



取材: 橋本史江

桜道 (さくらみち)



県道(尾崎~志筑線)の新川沿いに、四季折々の草花が咲き乱れるまっすぐに伸びた一本道があります。その道は桜道と呼ばれて、昔から人々に親しまれていますが、現在は桜の木は枯れて残っていません。桜道と呼ばれる由来には、次のような話があります。尾崎村(一宮地区)の上宮作五郎氏の弟繁六さんは、日露戦争で戦死しました。母親のよしさんは悲しんで、繁六さんが大好きだった桜の木を、家からよく見える新川沿いに植えたのです。

「・・・尾崎新川つゆぐちへんに 植えた吉野のあの花桜
母御石女の甲ひざくら 花の咲く頃ア繁六さんも
来てはうかれて酒上がるらむ 来てはうかれて桜見ん

ヨイヨイ ヨイヤシヨ」

盆踊り歌(上宮作五郎氏『反魂桜』より)

「これは兵隊さんへの思いを歌ったものやなあ」と、郷土史家 濱岡きみ子氏は語られました。かつては、本門寺の春祭りに、この桜道を檀尻が次々と通る光景は情緒があったそうです。時には満開の桜の下で休んだり、お弁当を広げたり、話し込んだり、又御旅所へ向かうときは、橋が無かったので、川の中の飛び石を渡り、向こう岸の御旅所まで檀尻を担いで渡ったそうです。1台渡り又1台とその間もこの桜の木の下で待つのは、木陰で丁度よい場所でした。親交の深かった濱岡氏によると、晩年、上宮作五郎氏が着物

姿で杖を持ち、しばしば桜道を散歩する姿が見られたそうです。そののち、ハッピー姿に豆絞りの子どもの引張る屋台檀尻が、踊りながら桜道を通りました。

昨年、本門寺の14年に一度の大法要が行われた際も、稚児行列がこの桜道を通りました。今は新たに对岸に桜の木が植えられ春には美しい花を咲かせて

くれます。繁六さんも大層喜んでいらっしゃるでしょう。



本門寺の春祭り(新川の桜すじ)

取材: 安居ひら子

生活創造活動グループ 私たちが伝える国生み神話 代表：沖田和良



へえー！
そうなん
や・・・

「イノシハンバーグ」は、石器で全ての食材をすりつぶしてミンチ状にしています。「イノシハンバーグ」の材料は、化石で発掘されたものの成分分析した物を、当時のままとは言えませんが復元しました。つなぎに野鳥の卵を古代は使用していたのですが、手に入れるのが難しいのでウズラの卵を使用しました。

古代食の「イノシハンバーグ」と「蘇(そ)」の復元時の写真です。汁は、鹿肉、イノシ肉を入れて「古代鍋」を作りました。おにぎりは、古代米の赤米と黒米を使用しています。

「蘇(そ)」は、淡路の先人が朝廷に献上していた美容食です。牛乳を煮込みながらかき混ぜて作ります。

グループ名を読んで字のとおり、国生み神話を伝えることを目的に活動をしています。私たちは第4期地域ビジョン委員会の教育・文化分野のメンバーです。御食都国(みけつくに)であった淡路島の先人たちは、海水から作った塩、美しい自然の中で得られる海や山の幸、水などを朝廷に納めていました。「日本書紀」「古事記」では、淡路島は最初に生まれ

た島だと記載されています。この神話を多くの人に伝えるために『国生み神話』の絵本の制作を支援したり、国生み神話の勉強や当時朝廷に献上していたといわれる美容食の「蘇(そ)」や古代食の「イノシハンバーグ」の復元なども行っています。今後は、『国生み神話』を中心にイベント等も企画＆開催していく予定です。文：沖田和良さん



女性パワーだ！！ 「やっさこら」

しっちょさんの独り言



漁師町、岩屋。名にたがわず猛々しい祭りだ。十数ある町内会は、それぞれに、引きだんじりを持ち、春秋年二回、各町内会阿吽(あうん)の呼吸でだんじりを出す。祭りは2日間、二つの神社を中心に展開される。酒も入り喧嘩も茶飯事だが、なんと言っても神社直前から神社めがけて突っ込んで行く「引っ込み」は見ごたえ十分である。当然直角の角回しもフルスピード、「てこ持ちさん」の腕の見せ所だ。「引っ込み」が予定される時刻には、街中の見物客が集まり、無事「引っ込み」を終えると主客入り混じり「やっさこら」のかけ声で、いつ果てるともなく狂気乱舞し続ける。

十数年前、実は勇壮な祭りも低調期にあった。過疎の波と人口減で規模も小さくなり相乗的に祭り全体の雰囲気も活気があせていた。それを救ったのが、町の女たちであった。年頃の娘さんを中心に大勢の女性が色艶やかに着物を着、化粧して、練る男どもを囲み、妖艶に腰を振りながら一斉に「チョイト、チョイト」とはやしたてる。それに燃えない男はいない。老いも若きも、その男たちの雑踏の中に飛び込んでいった。今もだんじりは、宮さん目指して突き進む。昔の元気を取り戻し艶やかな女性たちと無数のカメラマンを引き連れて・・・。

写真提供：廣岡卓樹さん 寄稿：西田利行さん

「しっちょさん(写真)」って？：道の駅あわじの西田利行さん。ニックネームの由来は、昔、かなりやせていたからだとか・・・？



紹介しま〜す!!
くらしの中の人と人、人と場所、人と物etc
との素敵な関係…

くらしのパートナーシップ part1

県民交流広場
中川原交流広場
代表: 島田 知(さとる)さん

and

淡路のちよいワザ名人
よさこい踊り 魂~kon~
代表: 前谷貴美さん



以前「ポケットあわじ」で姫路と淡路島で活躍しているよさこいチーム「魂~kon~」を知った。8月10日中川原ふれあい交流の納涼祭に出演のお願いをしたところ快くOK。事前に、地元の人たちと2回の合同練習を持った。最初はよさこい踊りの速いテンポに戸惑いながらも、次第に調子もあってきてそれなりに「様」になってきた。当日は猛暑であったが夕方になると心地よい涼風の中、たくさんのちょうちんの灯りと

たこ焼き、フランクフルト、アイスクリームなどの屋台もあって雰囲気は満点…。地元の民謡愛好会、郷土芸能保存会の踊りと特別出演「魂~kon~」の踊りで祭りがクライマックスになると、テンションも上昇。浮かれて踊りの輪の中に入る子どもたちや、地域の人たちも加わるなかで、会場の気持ちが一つになった。大勢の力と協力のお陰で楽しい納涼祭になった。

寄稿: 中川原公民館長 近藤芳民さん

くらしのパートナーシップ part2

県民交流広場
都志活性化協議会
代表: 山本道雄さん

and

いざなぎ学園(高齢者大学)
大学院 一年生
村崎 宏明さんたち

7月13日、都志活性化協議会と淡路文化会館高齢者大学「いざなぎ学園」大学院との交流会が、五色町「高田屋荘」で開催され、高齢者の地域貢献や地域の活性化について活発な意見交換が行われました。

広がる交流の輪



調理の様子。楽しいひと時、通い合う心。

都志活性化協議会は「県民交流広場事業」を通し、地域の子どもたちに夢を与える取り組みを活発に行っており、「いざなぎ学園」大学院は、大学院での学びを地域に生かしていくことを目標に活動しています。交流会では、意見交換とともに、協議会の皆さんが事業の一つとして、「地産地消」にとことんこだわってレシピを考案された「おふさおにぎり」と「嘉兵衛汁」をいっしょに作り、素朴で豊かな味を堪能しました。

また、五色町で紙芝居をされている梶野さんが「高田屋嘉兵衛」を上演。梶野さん自らが描かれた絵とユニークな語りに、全員感動、そして大爆笑! 地域にこんなにすばらしい人がいたなんて!

この交流会を通し、人と人の出会いの大切さや、行動することの大切さを学び取ることができました。

文: 淡路文化会館文化専門員 やまぼう



淡路生活科学センターからのお知らせ

“レジ袋減らし隊”運動実施中

環境にやさしい暮らしを進めるために、あなたもレジ袋減らし隊に参加しませんか？
「レジ袋、使わないからハンコください」と協力店でスタンプカードにハンコをもらいましょう。

スタンプはどうすれば押してもらえるの？

協力店にマイバックを持って買い物に行き、レジ袋を断る度に押してもらえます。

スタンプを集めると特典は？

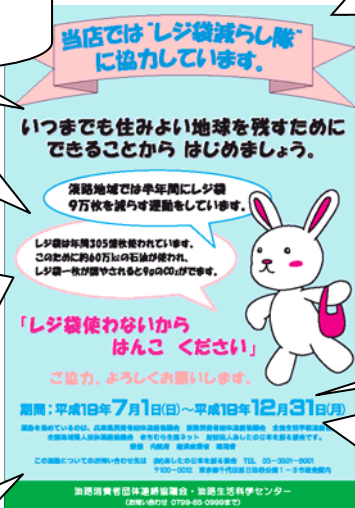
レジ袋を減らした枚数を把握するためのもので、特典はありません。

回収方法は？

協力店等によっては回収箱がありますので、回収箱にお入れください。または、会員がお渡ししたスタンプカードは会員が回収します。

運動期間は？

平成19年7月1日～12月31日



協力店のポスター

スタンプはどのお店でももらえるの？

協力店のポスターが貼ってあるお店でももらえます。

実施団体は？

淡路消費者団体連絡協議会
主催：兵庫県消費者団体連絡協議会
全国生活学校連絡協議会
まちむら全国ネット
あしたの日本を創る協会

問い合わせ先は？

事務局：淡路生活科学センター
電話 0799-85-0999

秋の全国交通安全運動 9月21日(金)～9月30日(日)



飲酒運転追放「三ない運動」

- ・酒を飲んだら車を運転しない
- ・運転する時は酒を飲まない
- ・運転する人には酒を飲ませない

ハンドルキーパー運動

「今日はわたしが送迎役です。お酒は飲みません。」
自動車で友人と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人を決め、その人が友人を自宅まで送り届ける運動です。お店はその人にお酒を提供しない、友人はその人にお酒を勧めないでください。

淡路県民局県民生活部地域協働課

あわじ謎解き！見聞録 第二期・第三期募集！！

【申込締切】9月28日(金) 【定員】第二期・第三期ともそれぞれ30名

【申込・問合せ】淡路文化会館 TEL 85-1391 FAX 85-0400

【受講料】1,800円(自治会費500円を別途徴収、体験学習等の実費が別途必要です。返金は致しません)

第二期

あのころのおのころ・これからのおのころ講座
～交通から淡路を見る～

意外と知らない淡路島の「交通」を通して、淡路島のこれまでとこれからを展望します。

[講座予定]

- 10/19 講義「淡路のみち」
- 11/16 講義「淡路のみなと」
- 12/21 講義「淡路に鉄道があったころ」
- 2/16 研修旅行「淡路の道をめぐる旅」
- 3/18 講義「海にまつわる物語」

3/18は第三期と合同で行います。

第三期

淡路文化見聞録講座

郷土淡路の良さを、受講生の皆さん自らが現地に赴き、地域の方との交流や史跡・伝統芸能を直接見聞することを通して、学び取る講座です。

[講座予定]

- 10/23 講義「淡路島の魅力発見、その糸口は！」
- 11/20 見聞録「西宮えびすの本家、岩屋恵比須神社周辺を訪ねて」
- 1/29 見聞録「堪能！洲本の歴史文化、交流！『女将の会』」
- 2/19 見聞録「淡路人形浄瑠璃の世界」
～淡路文学、日本音楽から～
- 3/18 講義「海にまつわる物語」

【時】開催日等 【所】場所 【料】料金 【問】問い合わせ先

食文化研究会調理実習のお知らせ

ペルーのお料理を作って食べて国際交流を楽しみませんか。

【時】9月21日(火) 9:30受付 10:00実習開始 【所】淡路文化会館調理室 【料】700円(材料費)
 【問・申込】坂本和子 55-1382 小田美根子 74-2415 熊野弘美 85-0036 【申込締切】9月10日(月)

県立淡路景観園芸学校

【問・申込】県立淡路景観園芸学校普及指導課 82-3455

まちづくりガーデナーテーマコース(植物栽培の基礎) 【時】10月24日(水)~26日(金)9:15~16:15

【料】受講料6,700円 傷害保険料150円【定員】30名(定員を超過した場合は抽選)【申込締切】10月3日(水)まで

まちづくりガーデナー体験コース 【時】10月31日(水)~11月2日(金)9:15~16:15

【料】寄せ植え費3,000円 傷害保険料150円【定員】50名(定員を超過した場合は抽選)【申込締切】10月10日(水)まで

国営明石海峡公園

~淡路花祭2007秋~ 【問】明石海峡公園管理センター 72-2000

入園料 大人400円 小人(小・中学生)80円 駐車場料金 普通車500円 大型バス1,600円

【イベント】 フLOWERガイドツアー(期間中の日・祝日、無料)

軽スポーツチャレンジ(期間中の土・日・祝日、遊具無料貸出)

秋のミニ園芸体験(期間中の日・祝日、要材料費500円~)

公園で楽しむ草木染め~サンゴジュ 【時】9月23日(日)13:30~

【料】500円~(染色材料による、染めたい素材持ち込みの場合は300円)

トールペイント体験教室~風景画 【時】10月1日(月)13:30~16:00

【料】1,000円(材料費込、絵の具等の道具は用意しています)

淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」

【料】入館料 大人600円 65才以上300円 高校生360円 中学生300円 小学生180円

秋色ガーデンショー - 伝統園芸ルネサンス -

・「ジャパネスクガーデン - 花と石の庭 - 」【所】フラワーショースペース(展示室5) 【時】9月15日~

・「伝統園芸ルネサンス」【所】癒しの庭(展示室4) 【時】9月8日~11月11日

辻本智子プロデューサーが左官棟梁久住有生氏や立杭焼窯元方とのコラボレーションで展開します。

盆栽教室

【時】9月16日(日) 13:00~15:00 【料】3,000円(入館料込)チケット販売は開催当日

【講師】平松春松園 平松浩二氏 【持参物】ハサミ、彫刻刀 【問】奇跡の星の植物館 74-1200 FAX 74-1201

しづかホール

爆笑!お笑いバトル2007

【時】9月24日(月祝) 第1部 12:00~ 第2部 15:00~

【料】前売 3,500円(当日500円増、3歳以上有料)

【出演】アンガールズ/いつもここから ほか

【問】しづかホール 62-2001

第60回淡路市中学校総合文化祭音楽部門発表会

【時】10月24日(水)12:30~ 【料】無料

【内容】淡路市内5中学校の音楽部門の発表

【問】落合幸雄 74-4113

サンシャインホール 第13回ひがしうら奇席

【時】9月30日(日)14:00~ 【問】サンシャインホール 74-0250 【出演】桂九雀 ほか

【料】前売 一般 1,000円(学生以下・70才以上・障害のある方 500円)

当日 一般 1,200円(学生以下・70才以上・障害のある方 700円)

洲本市文化体育館

兵庫県いけばな展 おのころロマン - はな・花・華

【時】9月14日(金)~15日(土)10:00~18:00(最終日~17:00)

【料】無料 【所】道場・コミュニティアリーナ・会議室1A

【問】兵庫県いけばな展洲本市実行委員会事務局 22-3321

「生かせいのちの公開講座」真言法話の集い

【時】9月19日(水) 13:30~ 【料】無料【所】会議室2C

【問】高野山真言宗淡路自治布教団 三寶院中 35-0029

「武士の一分」上映会

【時】10月10日(水) 10:30~ 13:30~ 【料】当日券のみ

(一般・大学1,200円 60歳以上・障害のある方1,000円

小中高500円)

【所】文化ホール「しばえもん座」

【問】兵庫県映画センター 078-331-6100

秋の琴成会まつり

【時】10月14日(日) 10:00~ 【料】無料

【所】文化ホール「しばえもん座」

【問】新家成子 32-0121

「生かせいのちの公開講座」真言法話の集い

【時】10月17日(水) 13:30~ 【料】無料【所】会議室2C

【問】高野山真言宗淡路自治布教団 三寶院中 35-0029

洲本市民工房 【問】洲本市民工房 22-3322

お香作り体験講座

【時】毎週土曜・日曜 随時受付 【料】500円



第2回いざなぎの丘フェスティバル

～大人も子どもも淡路っこ みんなで創ろう・楽しもう～

日時 10月7日(日)10:00～15:00
場所 淡路文化会館及びその周辺



消防車・起震車・救急車・パトカー・白バイが来るよ！
楽しいステージ・ゆかいなパフォーマンスがあるよ！
ものづくりにもチャレンジ！ 出店もあるよ！
まだまだ楽しい催しがいっぱいあるよ！！

入場無料



問合せ先 淡路文化会館
 85-1391 FAX 85-0400



ギャラリーインフォメーション

<p>淡路文化会館 85-1391</p> <p>展示室</p> <p>やきもの展 (9/4～9/17) 【料】無料</p> <p>兵庫県文化賞受賞者小品展 (9/19～9/24) 【料】無料</p> <p>いざなぎの丘写生大会作品展 (9/26～10/10) 【料】無料</p> <p>淡路ブロック大会作品展 (10/13～10/17) 【料】無料</p> <p>スケッチ淡路百景展 (10/19～11/4) 【料】無料</p> <p>県民ギャラリー</p> <p>淡路津名アートクラブ作品展 (9/15～9/24) 【料】無料</p> <p>いざなぎの丘写生大会作品展 (9/26～10/10) 【料】無料</p> <p>淡路ブロック大会作品展 (10/13～10/17) 【料】無料</p> <p>広田光哉作品展 (10/19～11/4) 【料】無料</p>	<p>洲本市立淡路文化史料館 24-3331</p> <p>下淵冷泉子展 3F企画展示室 (10/20～12/9) 【料】大 400円、高・大 250円、小・中 100円</p> <p>玉青館 36-2314</p> <p>館蔵品展 直原玉青 俳画展 (～9/17)</p> <p>直原玉青 善縁コレクション展 ～高野コレクションから～ (9/22～11/25) 【料】大 300円、高・大 200円、小・中 100円</p> <p>洲本市民交流センター アールギャラリー 【料】無料</p> <p>淡路デジタルフォトクラブ写真展 (9/2～9/30 12:00まで)</p> <p>洲本フォトサークル写真展 (10/2～10/28 17:00まで)</p> <p>洲本市民工房 【料】無料</p> <p>フォトクラブ21写真展 3Fギャラリー (10/30～11/4)</p>
---	---

編集だより

先月と同様ですが、私もポケットあわじの編集会議のことを紹介します。この会議、毎月末に行われるのですが、最高に楽しく、いろんな話題がぶかぶかと湧いてきて、ときには脱線してしまったことが、なかなかのいいネタだったりすることも多く、淡路島の地域を超えたたくさんのこぼれ話が聞けます。脱線の発端は、いつも私かもしれません(多分…)。でも、ワッハッハー！と笑いながらこれからも大勢とのご縁をつなげていきたいと思ひます。

お坊ちゃん応援隊 竹原祐乘

ポケットあわじでは、皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。お気軽にどうぞ！

(発行) 淡路生活創造応援隊
 淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター
 〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391
 FAX 0799-85-0400
 E-mail: bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの?・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>